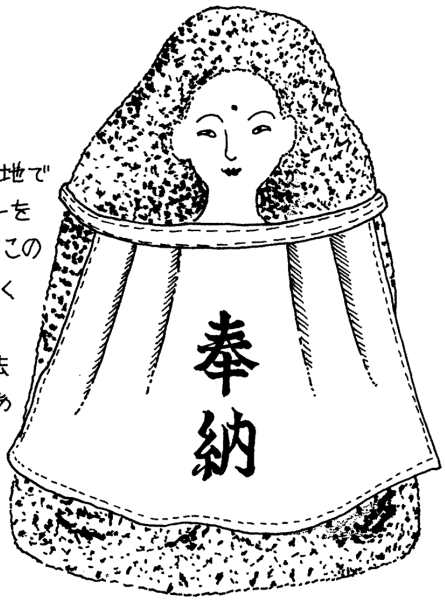
細筆は、面相という
和筆のほうが、使い易いと
思います。

▲
眉毛・目・鼻の線は、黒色で描きます。
眉の線は細めに描き眉と眉の間を、つめすぎないように描いてみると、やさしく見えます。口は朱赤色を用いて、小さめに描いて口元の両はしを、やや上がり気味にすることで、ほほえみの表情がでます。



まえだれは、朱赤色の生地で作ります。上部にギャザーを入れて縫っていきますが、このギャザーの巾は、あまり細くなくても良いと思います。実際に、お地蔵さまの寸法をとって、すその長さが、あまり短かくなりすぎないように気を配れば良いと思います。

3 お地蔵さまにお化粧してあげましょう

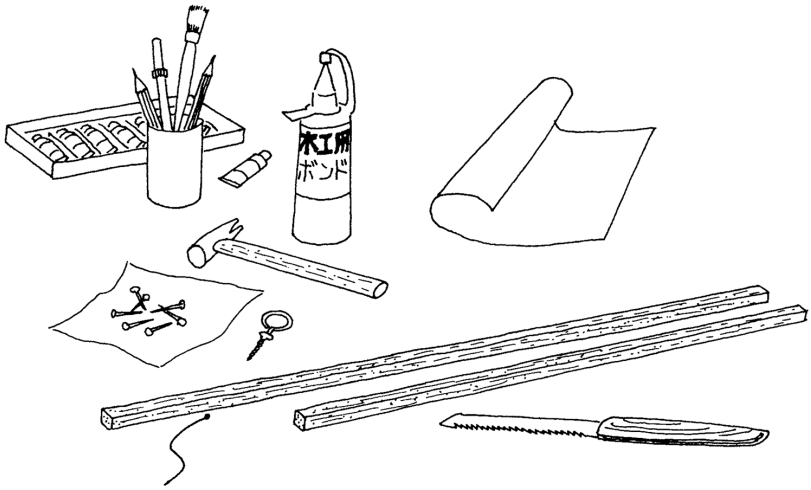
はじめに、お地蔵さまを水あらいします。がんこなヨゴレは
タワシで落とします。　　あとは、よく乾かしてから
お化粧をはじめます。

お化粧するといっても、新しいものはともかく
たいてい、古い石地蔵は目や鼻の形さえも定かで
無いことが多いものです。―― 顔から首、胸元に
かけての部分に、白い色で下地を塗りあげます。

▼

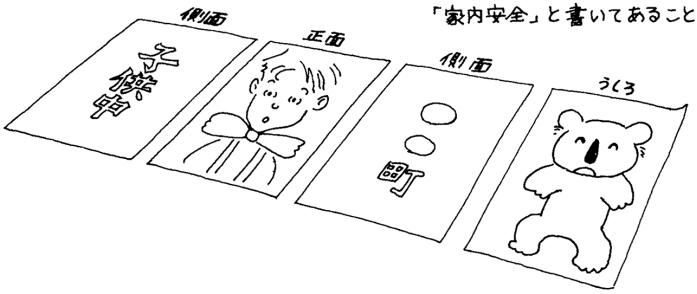
使用する道具：
筆＝太、細 各1本づつ
えの具3色＝白・黒・朱赤

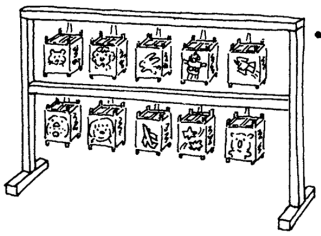
使用するえの具は、水性のものを使って、いつでも
水洗いできるように、しておくと良いでしょう。
例● ポスター・カラー、不透明水彩えのぐ、グワッシュ、泥絵のぐ Etc.



1.5 ～ 2cm 角位の木

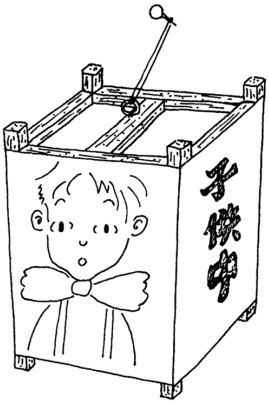
▼ 2側面には、子供中・町内名を入れるが、
「家内安全」と書いてあることもある。



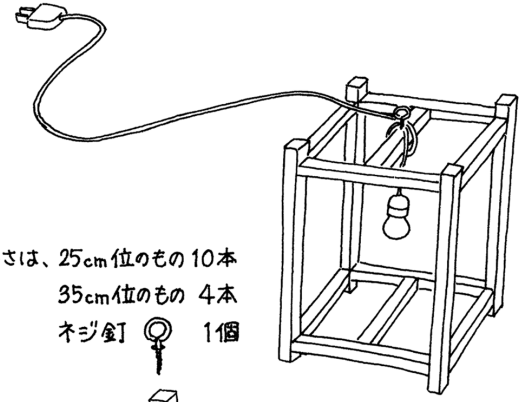


めいめい出来上がったら持ちよって
こんなふうに吊り下げて飾ってもいい。
大きな町内用アンドンに、ひけをとらない
すばらしいものとなるでしょう。

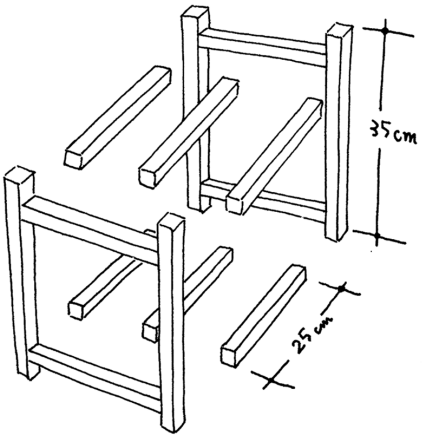
2 お父さんといっしょに小さな行燈づくり

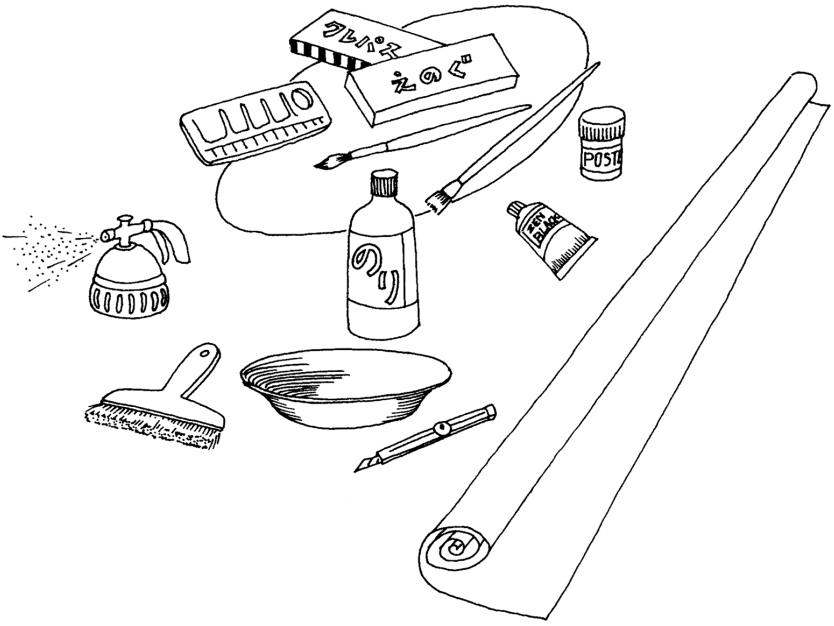


この行燈は家の門口などに掛けてかざるものです。
昔はローソクを立て夜の明かりをたのしんだものです。
火事の心配もあるので、豆球を代用すればよいでしょう。
いずれにしても、安全を心がけ楽しみたいものです。

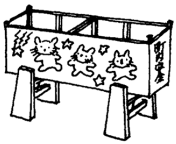


組み木の長さは、25cm位のもの 10本
35cm位のもの 4本
ネジ釘 1個

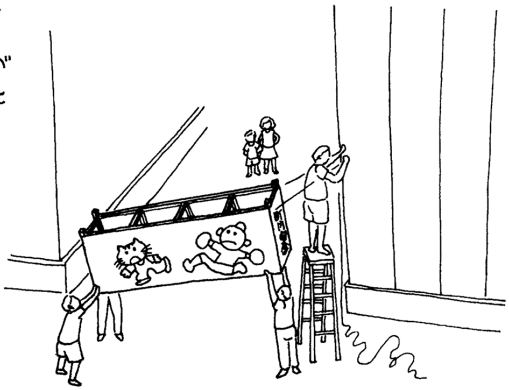




材料は身の回りにあるもので"いいのです。
ただ、紙は大きくて厚目のものが要るので"
画材店で"求めて下さい。

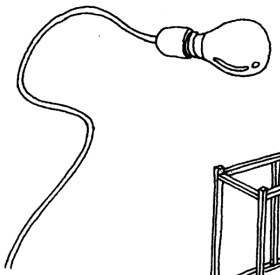


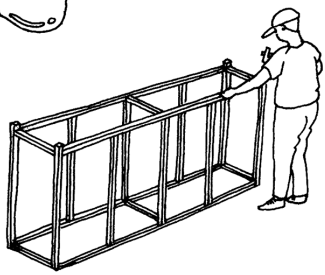
町内の行燈は、通りの角地など"に
吊るすもので"すが、交通事情もあって
で"きない所があります。
上図のように台の上にのせている町内が
ありました。これはグッド・アイデ"アだ"と
思いました。

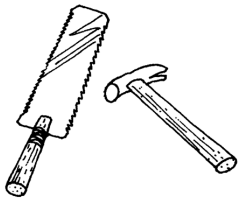


1 町内に吊るす大行燈（あんどん）づくり

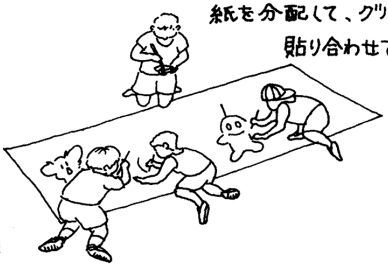
行燈の大きさは町内によってちがうようです。
木製骨組みのもので、1間半（270cm）長さ×巾 5～60cm
×高さ7～90cm位がふつうのようです。後で紙を囲む
ように貼り付けて仕上げるので紙のサイズに見合った大きさにします。
毎年使うものなので、ボルト（ネジ）止めして組立て
できるようにしておくと経済的です。







子どもたちに、好きなマンガのキャラターなどを描いてもらう。
えのぐやポスターカラーなどで色づけしますが、あらかじめ
エンピツなどで形ビリして描くと良いのでは？また、
紙を分配して、グリループごとに描いてから
貼り合わせて、長い絵に完成してもいい。



絵が仕上がったら、木組みワクにのり付けします。
場合によっては押しピンやホッチキスで止めてもいい。
夕立ちにそなえてビニールを上からかけておくと安心です。

手づくりで地蔵盆しましょう

まつうら・ちゅうへい
イラスト・ガイド

この「手づくりでじぞう盆しましょう」は、『地蔵盆の手帖』（編著・画：松浦忠平／発行：壬生寺／昭和 61 年）の一部を、許可を得て掲載したものである。

もくじ

手づくりで地蔵盆しましょう

1　町内に吊るす大行燈づくり……❷

2　お父さんといっしょに小さな行燈づくり……❹

3　お地蔵さまにお化粧してあげましょう……❻

4　場所を決めたら飾りつけましょう……❽

楽しい地蔵盆の催しを考えよう……❿

発行日：平成27年3月

発行者　京都をつなぐ無形文化遺産普及啓発実行委員会
（事務局　京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課）
〒604-8006京都市中京区河原町通御池下る
下丸屋町394　Y・J・Kビル2階
TEL 075-366-1498
FAX 075-213-3366

企画・監修　京都市

協力　山路興造（京都をつなぐ無形文化遺産「地蔵盆」審査会委員、京都市文化財保護審議会委員）
太田達（京都をつなぐ無形文化遺産「地蔵盆」審査会委員、（公財）有斐斎弘道館代表理事）
松浦俊海（京都をつなぐ無形文化遺産「地蔵盆」審査会委員、壬生寺貫主）
松浦忠平（イラストレーター）
松浦すみれ（イラストレーター）
神谷潔（京都をつなぐ無形文化遺産「地蔵盆」審査会委員、写真家）

（イラスト）

（写　真）

編　集　株式会社シィー・ディー・アイ

デザイン　大平年春

印刷・製本　有限会社ダイヤ印刷

平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金
（文化遺産を活かした地域活性化事業）

文化庁
Agency for Cultural Affairs

“京都をつなぐ無形文化遺産”

京の地蔵盆

～地域と世代をつなぐまちの伝統行事～

復刻

手づくりで じぞう盆しましょう